

長野県科学技術振興指針

～「質的に豊かな県民生活」と「市場競争力を有する地域産業」の実現をめざして～

平成 28 年（2016 年）3 月

長野県

しあわせ  信州

課題を解決するための方向性

施策の展開

- 各研究機関等が保有する気象情報や影響情報を一元的に整備し、気候変動予測と影響分析を進めること

【具体的内容】

平成26年度に構築した「信州・気候変動モニタリングネットワーク」で一元化したデータを様々な機関と共有し、恒常的な研究体制を構築するための施策を展開します。

[環境部]

施策の展開番号49

- 気象データ等を保有する機関等（県機関、国機関、独立行政法人の研究施設、大学等）のネットワーク化による、データベースの構築と精度の高い気候変動予測、影響分析の実施

⇒参考事例：取組事例紹介（No. 15）…30頁

- 関係者間の情報共有、研究開発を促進するプラットフォームを構築すること

【具体的内容】

様々な機関相互での情報共有を促進し、ネットワークを強化して、科学的情報に基づく適応技術の開発や適応策の推進に寄与することを目的として、国や県等の関係機関で構成するプラットフォームを構築し、防災対策の推進、農業分野での新品種開発等の施策を展開します。

[環境部・産業労働部・農政部・林務部]

施策の展開番号50

- 産学官連携体制により、気候変動による影響の分析・評価手法の研究開発

施策の展開番号51

- 産学官連携体制により、気候変動による影響の防止方策の研究開発

⇒参考事例：取組事例紹介（No. 16）…31頁

取組事例紹介（No. 16）《施策の展開番号26、51の参考事例》

超断熱サッシの開発による住宅の高断熱化と省エネルギー化の検証

[有限会社和建築設計事務所]

【取組概要】

断熱性能が低い住宅は冷暖房のエネルギー消費量が多くなります。

また、リビングやトイレなど住宅内の温度差が激しいため、健康にも影響を及ぼすと言われています。

そのため、断熱性能を高める住まいが求められますが、その普及は十分に進んでいません。

そこで、有限会社和建築設計事務所は、地域木材を活用した超断熱サッシにより、住宅の省エネルギー効果を検証しました。



超断熱サッシの取付状況

【取組成果等】

サッシに使用するガラス性能、形状、取付位置などを検証し、窓の断熱性能を高めることが、住宅の冷暖房のエネルギー消費量の削減につながることを確認しました。

【今後の取組】

住宅の断熱性能を高めることは、省エネルギー化による温室効果ガスの排出削減に加え、住宅内の温度差を和らげ、健康増進にもつながります。

超断熱サッシは、地球温暖化対策や健康的な住まいの両面から期待されており、今後、製品開発が進められる予定です。